

## 令和5年度 第3回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和6年2月13日(火)  
午後2時40分から午後4時30分  
場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室E

出席委員 佐久間委員、平野委員、森竹委員、荒木委員、西浦委員、  
鈴木義信委員、齋藤委員、水島委員、望月委員、鈴木清委員

- 1 開会
- 2 まなび支援センター所長挨拶
- 3 協議
  - ①令和6年度まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について
  - ②第23期木更津市青少年補導員候補者について
  - ③情報交換

### 〔事務局から説明〕

会に先立ちまして、皆様にご承知願いたいことがあります。

本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公表されておりますが、本日の傍聴人はありません。また、会議録は木更津市のホームページ上で公開されることとなります。会議中は録音機により会議を録音いたしますのでご承知ください。

それではただ今から、令和5年度第3回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、10名の出席により会議が成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、協議に入ります前に、まなび支援センター難波所長よりご挨拶を申し上げます。

### 所長あいさつ

#### 〈事務局〉

ありがとうございました。それでは、これより協議に入りたいと思います。

齋藤会長に座長をお任せいたします。よろしくお願いいたします。

#### 〈齋藤会長〉

それでは、協議にはいります。

協議事項の①令和5年度木更津市まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について、事務局説明願います。

#### 〈所長〉

### 令和5年度まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について説明

#### 〈齋藤会長〉

事務局からの説明について、各委員よりご質問・ご意見等をそれぞれお願いしたいと思います。

まずは、私から。補導員を長年しておりますが、最近は街頭指導でも子どもがいない。県の補導員連絡協議会に行きましても、子どもがいない、目立った活動がないとの声が多いです。

ただ、子どもの集まるイベントに参加しましたが、そういったところで子ども達は活発にすごしていました。

夏に花火大会後のパトロールも再開しまして、多くの補導員が参加しましたが、人が多く、逆に邪魔になってしまったのではないかと思えた。昔のように、いつまでも座って飲んでいような子はいなく、終わったら皆、さっと帰っていった。今はこうなのかもしれない。

#### 〈佐久間委員〉

中学校では、3年生が進路の時期で私立の子は決まり、公立がこれからというところ。

私も、青少年相談員を引き受けたことがあるが地域を知るというのは、とても大切な事だと思います。

港まつりにつきましても久しぶりの開催で心配をしましたが、おかげ様で特に問題はありませんでした。

#### 〈平野委員〉

木更津東高の生徒が「魅力ある県立学校づくり大賞」の最優秀賞に選出されました。生徒の頑張りです。定時制の子達も落ち着いて頑張っています。

資料の青少年相談で相談内容の不登校が多く、相談者に高校生が増えているようですが高校でも不登校は問題の一つです。ご協力できること等あれば、ご連絡いただきたい。

#### 〈森竹委員〉

こども家庭相談では関係機関と連携をし、学校やまなび支援センターなど連絡をしています。

まなび支援センターの青少年子育て相談の件数で、本人からの相談もあるというのが、身近な相談先となっている証拠だと思います。

#### 〈荒木委員〉

今年度、民生委員で福祉体験学習を再開しました。社協と連携して車いす体験や高齢者体験、目の見えない人体験をしました。

また、小学校でポッチャを広げるための活動を始めます。

#### 〈西浦委員〉

日頃からご協力頂き、ありがとうございます。警察の体感では騒がしい方かなと思います。県内の令和5年非行少年の検挙人数は1107人で前年度213人増加、約23%上がっております。全体の10%程度が青少年を占めています。内容は窃盗、万引き、バイクを盗む等で再犯率が約27%です。特定のグループが繰り返しているので、繰り返さない指導が必要です。

また、SNSを使った犯罪は報道にも既に出っていますが、わいせつ目的のものなどが見受けられます。

### 〈鈴木義信委員〉

木更津警察署少年警察ボランティアは、生活、防犯指導を防犯指導員として、月2回袖ヶ浦駅、木更津駅周辺を午後7時から街頭指導を行っているが問題はない。コンビニの前でたむろしているというも見られない。港まつりにもパトロールをおこなったが、皆、大人しい様子。

波岡中でソフトバレー大会を開催しました。こういったところで、親睦を深めたい。

### 〈水島委員〉

青少年の主張大会で川柳を募集しましたが、その中にはSOSと思われるものもあった。テーマを「大人たちへ」にしたので、身近な大人たちへの憤りや、自分の置かれている立場への不満などを感じるものが含まれていた。

また、縄跳び大会も開催しましたが、今年度、清川地区だけでなく、鎌足地区も含めました。今、学校で長縄をしていないので団体競技ができなくなりました。マラソン大会も無い学校もあるようなので、再開を望みます。

### 〈望月委員〉

小学校のPTA活動で朝、挨拶活動をしています。皆、挨拶を返してくれます。

私が日々、感じる事は、大人も子供も認めてあげる事が重要だと思います。もし、家に帰りたくないと言いう子がいたら、そんな時もあるよねと寄り添ってあげる。子ども同士のトラブルがあったら、先ずは両方に話を聴いて、目撃した場面だけを切り取るのではなく、ちゃんと言い分を聴いてあげないと大人への不信感に繋がってしまうと思います。

### 〈鈴木清委員〉

事業を再開したものもありますが、キャンプ場まつりは台風の影響で会場変更になってしまいました。かるた大会はイオンで開催し、新事業「チャレラン」も無事にできましたが、参加者よりもボランティアスタッフの方が多い結果でしたが、次に繋げられたらと考えています。

### 〈齋藤会長〉

ありがとうございました。では、協議事項2としまして、次期青少年補導員の推薦につきましてご意見等なければ、このまま事務を進めて頂きたいと思います。

皆さんよりご意見等を伺ったところですが、先程の望月委員の子供の大人への不信感という点につきまして、学校で子ども達と日頃から接している佐久間委員、いかがですか。

### 〈佐久間委員〉

一場面だけを切り取って頭ごなしに注意するなどは良くないと思います。とにかく、受けとめる事が教育の基本だと考えます。例えば、授業中に寝ている子に「何寝てるんだ。」と怒るのではなく、「今日はどうした？」と聴かないと子どもの気持ちは離れてしまう。子ども達のだしてくるSOSを見過ごしてしまうかもしれない。

### 〈水島委員〉

木P連のなかでもSOSをどう拾って、どう対応しているか情報交換をしていきたいと思います。先生に言えなければ、親や友達に言うかもしれない、でも親に言えない子もいるので先生方にも気づいて欲しいと思います。子ども達は相談先を使い分けていると思うので、ここで発信できるというところを増やしていけると良いなと思います。

補導員の研修のなかで薬物関する事がありました。実際には市内でも高校生などに薬物での事件が増えているということですか？補導員さんはどのように対応しているのでしょうか。

### 〈齋藤会長〉

薬物防止の劇を実際にやってみる研修でした。市内にも広がっているとの話もありますが、警察からの見解はどうですか。

### 〈西浦委員〉

違法薬物となると刑事二課が管轄となります。車内で大麻を使用していて、職質で検挙されることが多いですが18歳以上が大多数です。本市が多いというよりは、県内全体で増えているので、若いうちの啓発活動が必要だと思います。

### 〈齋藤会長〉

ありがとうございました。他にご意見等はありませんでしょうか。共有しておきたいことなど、よろしいでしょうか。

時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

### 〈事務局〉

ありがとうございました。

貴重なご意見等ありがとうございました。委員の皆様方のご意見等を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

次回、令和6年度 第1回の運営協議会は令和6年6月20日（火曜日）を予定しております。来年度は委嘱の年でもありますので、引継ぎ等の際には次期の方にお伝え頂きたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

それでは、これもちまして、本日の会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。